



# Newsletter

No. 23 September 30 2016

東京医科歯科大学ラテンアメリカ共同研究拠点

## アフ・トンガリキ

先日、リフレッシュ休暇を利用し、イースター島の観光に行ってきました。イースター島は、チリ本土から西に約3800kmの太平洋上に位置する小さな孤島で、1888年よりチリ領となり、現在に至ります。この島を世界的に有名にしたのは、言わずと知れた巨石像モアイの存在です。イースター島には約900体のモアイが存在しますが、当時の部族間抗争により全てのモアイが倒されてしまい、現在、復元・修復され立っているものは40体程度に過ぎません。

左下の写真は、テレビや雑誌などで目にしたことがある方も多いかと思いますが、15体のモアイが立ち並ぶ「アフ・トンガリキ」です。これらのモアイの修復・立像に日本企業が貢献しました。

アフ・トンガリキのモアイは、1960年のチリ大地震による津波の影響で、海岸から離れた内陸地まで流されておりました。こういった状況が、「日立世界・ふしぎ発見!」のイースター島特集で放送されたことをきっかけに、株式会社タダノが費用を全額負担し、1991～93年にかけて発掘調査・修復作業が行われました。

海を背に整然と立ち並ぶ15体のモアイは、現在ではイースター島の観光名所の一つとなっており、モアイの近くには、現在もタダノの功績を評するプレートが設置されています。

分野は異なりますが、上述した日本企業のモアイ修復プロジェクトのように、本学が協力する大腸癌早期診断プロジェクト(PRENEC)もチリで大きな成果を挙げられるよう、日々勤しんでいきたいと思えます。

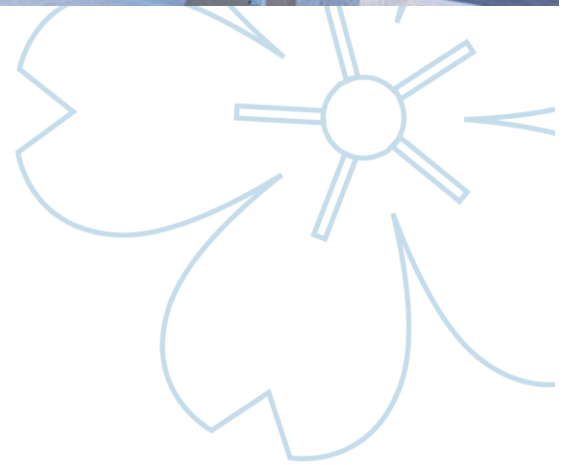
小田柿智之 LACRC 消化器病態学分野



15体のモアイが並ぶアフ・トンガリキ



株式会社タダノの功績を評価するプレート



**LACRC** TMDU IN CHILE  
Latin American Collaborative Research Center  
Santiago de Chile



## Contents

ご挨拶 .....	1
JDプログラム .....	2
PRENECの進捗状況 .....	3
活動報告 .....	5

# ジョイント・ディグリープログラム

前号に引き続き、ジョイント・ディグリー・プログラムの活動状況を報告いたします。平成29年度入学試験の第1次募集が開始となりますので、興味がある方は下記を一読の上、早めにお問い合わせください。

次号も引き続き本Newsletterにて、今後の活動状況等を報告してまいります。

## 平成29年度東京医科歯科大学・チリ大学 国際連携医学系専攻における学生募集

本年10月3日から本専攻における第1次学生募集が開始します。本専攻に入学する学生は、「専門性の高い経験・技能を有する高度専門的職業人であり、またグローバルな視点から医療・研究を捉えることができるリーダーとなる」ことが期待されます。本学から入学した学生は基礎科目履修期間をチリ国で過ごし、論文計画案の作成を行います。履修科目のほとんどを海外で学び、また学生個人の興味に即した履修カリキュラムを組み立て、研究内容に最も適した指導教員を充てるなど、他専攻にはないフレキシブルで魅力的なカリキュラムとなっています。また入学検定料、入学金、授業料を不徴収とすることより、経済的負担については比較的不安なく学修に取り組むことができます。今後国際的な医療人、研究者を目指す高い志を持つ方の出願をお待ちしています。

なお、本専攻は出願者が取得している医師資格によって出願手続きを行う大学が異なっております。日本国医師資格を持つ方は、本学にて出願手続きをしていただきますようお願いいたします。さらに各大学における募集手続きに関して詳細を希望される方は、下記参考のHPをご覧ください。

### 【参考】

- チリ国医師資格を持つ学生(チリ大学HP参照)  
チリ大学医学部大学院博士課程医科学専攻

[http://www.postgradomedicina.uchile.cl/med.portal?\\_nfpb=true&url=10465&\\_pageLabel=conUrlRojo&l=1](http://www.postgradomedicina.uchile.cl/med.portal?_nfpb=true&url=10465&_pageLabel=conUrlRojo&l=1)

- 日本国医師資格を持つ学生(東京医科歯科大学HP参照)  
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科  
東京医科歯科大学・チリ大学国際連携医学系専攻

[http://www.tmd.ac.jp/faculties/graduate\\_school/jd\\_hp/10\\_576b95e325de5/index.html](http://www.tmd.ac.jp/faculties/graduate_school/jd_hp/10_576b95e325de5/index.html)



UNIVERSIDAD DE CHILE



# PRENECの進捗状況

大腸癌早期診断プロジェクト(PRENEC)の最新情報をご報告いたします。現在、プンタ・アレナス、バルパライソ、サンティアゴの3都市において免疫学的便潜血反応検査(iFOBT)を用いた検診プログラムが進行しております。

本号では昨年に続き2回目となる第三国研修の様子をお伝えします。

## 第三国研修

ボリビア及びパラグアイの医療チームを対象にJICA・AGCID(チリ国際協力庁)後援の第2回第三国研修が開催されました。本学から岡田卓也講師と伊藤崇助教がJICA専門家として招聘され、LACRCの小田柿助教、ロペス医師をはじめとしたチリ側のPRENECスタッフと共に指導にあたりました。

研修は8月29日から5日間に渡り行われました。今回は講義のみでなく、PRENECのプロモーションから内視鏡検査、病理診断に至るまでの実際の過程を紹介することで、昨年に比べてより実践的なプログラムとなりました。

本開講式では、チリ保健省ソト副大臣補佐官、日本大使館折原参事官、倉田書記官、在チリボリビア領事館オクサ領事、アルバレス下院議員、JICAチリ支所桜井支所長、AGCIDリラ理事長とその他多くの方々にご臨席を賜りました。

今後もこのような機会を通して南米でのがん検診の普及に貢献していきます。



CORREO INSTITUCIONAL | SIC AGCI | INTRANET | OIRS | Idioma

agcidChile  
Cooperación Chilena para el Desarrollo  
MINISTERIO DE RELACIONES EXTERIORES

Inicio | AGCID | Qué es la Cooperación | Acciones para el Desarrollo | Becas | Opinión | Sala de Prensa

Inicio > Noticias > Equipos médicos de Bolivia y Paraguay se capacitan en Chile para la prevención y detección precoz del cáncer colorrectal

Equipos médicos de Bolivia y Paraguay se capacitan en Chile para la prevención y detección precoz del cáncer colorrectal  
Escrito en 30 Agosto 2016.

A- A A+

AGCIDホームページ掲載写真

「チリにてボリビア及びパラグアイの医療チームが大腸がん検診に関する研修を受ける」

※本学ホームページにおいても当該情報を発信しております。

<http://www.tmd.ac.jp/english/news/20161004/index.html>



伊藤助教による発表の様子



岡田講師による実技指導の様子



小田柿助教による実技指導の様子



CLCにて研修参加者と記念撮影



ペレイラ病院にて病院スタッフ及び研修参加者との記念撮影



受講後テストを受ける研修参加者ら

# LACRC活動報告

## 第3回Panamericano de Cáncer Gástrico学会参加

本年7月7日～9日に第3回 Panamericano de Cáncer Gástricoがサンティアゴにて開催されました。チリ及び中南米諸国の他、イタリア、日本からも演者が招聘されました。LACRCからは小田柿助教が招聘され上部消化管のESDに関する講演を行いました。



学会理事のペナビデス医師とともに記念撮影



左よりナバレッテ医師、小田柿助教、エステラ医師、シッド医師

## ラ・セレナにおいて学会開催

毎年開催されているラ・セレナ市北カトリカ大学主催の消化器病に関する学会にLACRCから小田柿助教が講師として参加しました。

小田柿助教は「上部消化管における早期がんスクリーニング方法」に関する発表を行い、日本式的内視鏡スクリーニング方法に高い関心が寄せられました。



学会理事ブレスキー医師(右より3番目)と学会発表者との昼食の様子

**II SEMANA DIGESTIVA  
REGIÓN DE COQUIMBO**

TEMA INVITADO "INFECCIONES DIGESTIVAS"

Dirigido a:  
Médicos Generales - Internistas - Gastroenterólogos  
Cirujanos - Pediatras e Intensivistas - Enfermeras  
Nutricionistas y kinesiólogos.

06 al 09 de Septiembre de 2016  
Hotel La Bahía - Enjoy Coquimbo

### 編集後記

本号でお伝え致しました通り、第三国研修では前赴任医師であった岡田講師、伊藤助教をお迎えしました。LACRCスタッフは勿論の事、クリニカ・ラス・コンデススタッフ、サン・ボルハ病院スタッフ、ペレイラ病院スタッフ、マガジャネス病院医師と各方面で懐かしく、笑いに包まれた嬉しい再会のひとときとなりました。

今後も本Newsletterを通してLACRCの活動を報告してまいります。(早川美貴)

東京医科歯科大学ラテンアメリカ共同研究拠点  
Latin American Collaborative Research Center  
Newsletter No. 23, September 2016

[発行日] 2016年9月30日  
[制作] Latin American Collaborative Research Center  
Tokyo Medical & Dental University  
Clínica Las Condes  
Lo Fontecilla 441, Las Condes, Santiago, Chile  
Tel: (56-2) 2610 3780  
Email: LACRC-CHILE.adm@cmn.tmd.ac.jp